



子どもいじめ防止センターだより
 ハートフル
 ～きこえる いっしょに ^{かんが} 考えよう～
 平成29年2月発行

ある小学校のうさぎ小屋での話です。かわいい目をした毛がふわふわのパンダうさぎが、7匹いました。子どもたちは、毎日一生懸命、世話をしています。よく見ると一番小さいうさぎが少し汚れているように見えます。餌の時間になりました。子どもたちは、おうちから持ってきた野菜やペットフードを食べきれないくらいあげました。みんな仲良く食べ始めましたが、小さいうさぎが、食べに来ようとする他のうさぎたちが追い出します。お尻をかじりながら追いかけます。かまれているので小さいうさぎの毛がボロボロだったんですね。他のうさぎたちが、お腹いっぱいになってお昼寝をし始めた頃、小さいうさぎは、残った野菜を細々と食べていました。野菜の無い日は、全く食べるものがない日もありました。日が暮れる頃、他のうさぎたちは、穴の中に入りますが、小さいうさぎは、小屋の隅っこで震えながら寝ていました。



イラスト by おや

ある寒い朝の事です。小さいうさぎが死んでいました。かちこちでみんなに踏まれたのか、ぺったんこでした。子どもたちは、みんな泣いていました。一週間ほどたった頃、餌の時間にうさぎ小屋を見に行くと、今度は違う1匹のうさぎが、前と同じように、他のうさぎたちに追いかけていました。広い野原で自由に暮らしているうさぎたちには、こんないじめはないのでしょうか。優しい目をした愛らしいうさぎたちの間でも、こんないじめがあるんですね。あなたたちは、人間の社会にもいじめがあるのを知っていますね。人間はうさぎたちと違います。わたし達は、考える力、善悪（何が良い事か、悪い事か）を判断する力があります。このような判断力や、この世の中から、いじめをなくす行動力を身に着けるためしっかり学んでいきましょう。


三木市子どもいじめ防止センター
電話: 0794-82-8110
 三木市福井 1933-12 三木市立教育センター3階

相談日: 月曜日～土曜日
 時間: 午前9時～午後5時まで
 日曜日・祝日はお休みです。
ijime_boshicenter@city.lg.jp

だから わるい

オセーエワ 作
西郷 竹彦 訳

一ぴきの犬が、体をまえにかがめて、はげしくほえたてています。そのすぐはなさきに、かきねにぴたりと体をよせて、一ぴきの小ねこが、毛をさかだててふるえています。かーっと口をあけ、ニャーオ、ニャーオとないています。そのすぐそばに、ふたりの男の子がたって、どうなることかとみていました。

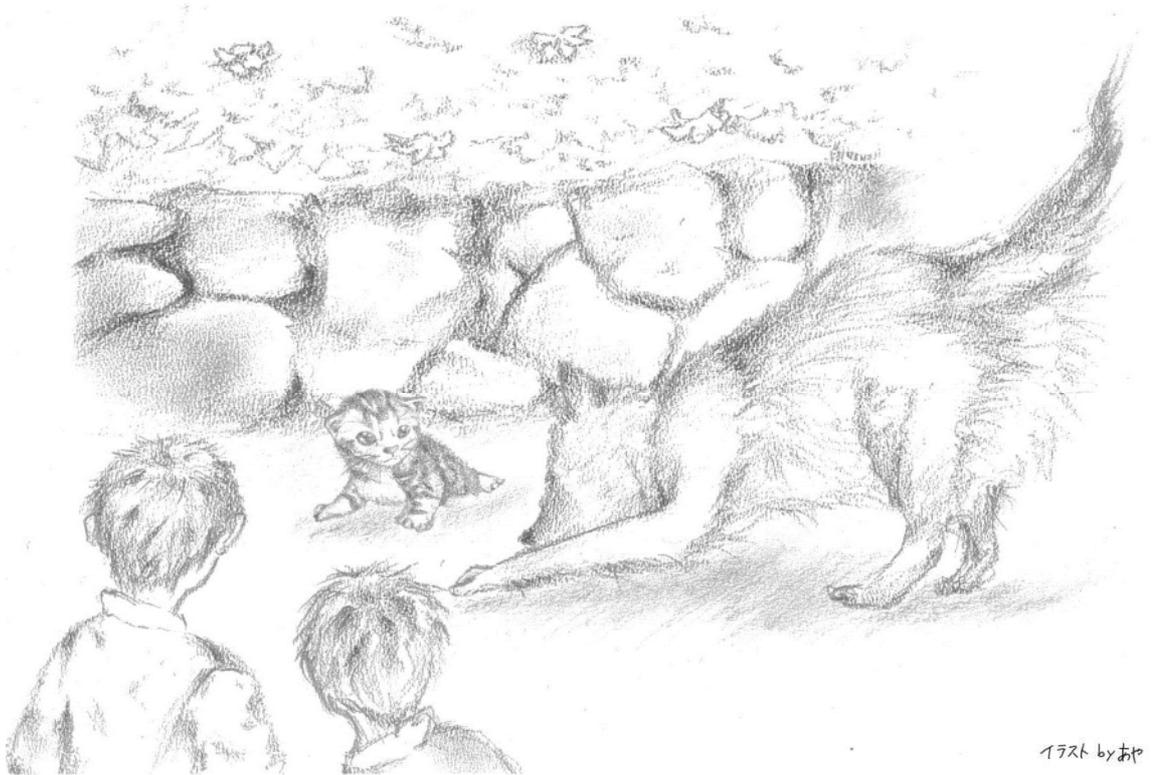


イラスト by おや

まどから、それをのぞいていた女の人が、とぶようにして、かいだんからかけおりてきました。女の方は、犬をおっばらうと、男の子たちをしかりつけました。

「あんたたち、はずかしくないの！」

「どうして、はずかしいの？ ぼくたち、なにもしていないよ！」

男の子たちは、びっくりしたように、いいました。

「だから、わるいのですよ！」

女の方は、まっかにおこっていました。

なぜ、女の方はおこっているの？

いじめの4層構造 (文部科学省ホームページより)

- いじめる生徒 (加害者)
- 観衆 (はやしたてたり、おもしろがったりして見ている)
- 傍観者 (見て見ない振りをする)
- いじめられる生徒 (被害者)

いじめの持続や拡大には、いじめる生徒といじめられる生徒以外の「観衆」や「傍観者」の立場にいる生徒が大きく影響している。「観衆」はいじめを積極的に是認し「傍観者」はいじめを暗黙的に支持し、いじめを促進する役割を担っている。

傍観者(見て見ない振りをする人)について

左の「だからわるい」を読んでください。このお話は、今にも殺されそうになっている小ねこを助けない二人の男の子が悪いと、女の方は、怒っているのです。

何もしないのは、犬がしていることを許しているのと同じだね。犬を許すということは、小ねこをいじめているのと同じじゃないでしょうか。

小ねこは「助けてー」と叫んでいるようには思いませんか。

助けてと言いたいけど、怖くて声が出せないのかも。

もし、あなたたちが実際にいじめに出会った時、いじめられている子(被害者)が、たとえ笑っていたとしても、本当は、怖くて声が出せないのかも。「助けて」の心の声を聞くことのできる人にならないとね。



いじめられている子にとっては、周りのみんなにいじめられている気がするのです。だれも助けてくれなくて、悲しくて、悩んで自らの命を絶つ人もいます。

いじめられている現場で一人でも助けてくれる人がいればいいのですが。でもこのお話の犬がものすごく大きく狂暴だったらどうでしょう。二人の男の子もやられてしまうかもしれません。いじめは、とても凶暴で冷たく心無い場合もあります。そんな時は大人に助けを求めるのが一番ですね。そうできなかった場合でも、いじめられている子と、二人きりになった時でもいいのです。そっと優しく声をかけてあげてください。それだけで、いじめられている子の心は安らぐと思います。自分の味方をしてくれる人が一人でもいると分かって。

いじめ「ゼロ」のまちへ

いじめは、子どもたちの成長を妨げるとともに、時には、命までも奪ってしまう重大な問題です。

子どもたち一人一人は「社会の宝」であり、かけがえのない大切な存在であることから、子どもたちを社会全体で守り育てていかなければならないことを私たちは改めて考えなければなりません。

こうした考えにもとづき、三木市では、平成25年3月に「三木市子どものいじめ防止に関する条例」を制定し、子どものいじめを防止するとともに、いじめを許さない社会づくりに努め、安心して子どもたちが生活し成長していけるまちづくりを進めるための取組を行っています。



児童生徒のみなさんへ

いじめは、いつでも、だれにでも起こりえます。いじめを自分たちの問題として考え、日ごろから、人を大切にすることを心がけて過ごしましょう。もし、いじめられたり、いじめてしまったり、また自分の周りのいじめに気付いたりしたときには、勇気をもって、信頼できる人に相談しましょう。



家族のみなさんへ

いじめが重大な人権侵害であり、どんなことがあっても決して許されないことであることを家族全員で確かめ合ってみましょう。

いじめの被害にあった場合や、いじめに加わった場合などは、どうすべきかを子どもと一緒に考えましょう。

また、インターネット等の適切な使い方についても改めて話し合ってみましょう。

地域のみなさんへ

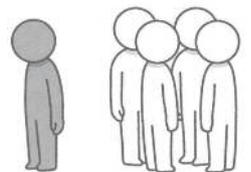
いじめについて正しく理解し、地域の中でいじめをなくすため、様々な機会に声をかけるなど子どもたちを見守っていきましょう。

いじめって何？

「子どもが、他の子どもの心や身体に影響することを行い（インターネットを通じて行うことも含みます）、それを受けた子どもの、心や身体が傷ついて苦しんだりすること」を「いじめ」といいます。

たとえば

- ◆悪口や脅し文句
- ◆金品をたかる
- ◆仲間はずれ
- ◆冷やかしゃからかい
- ◆集団による無視
- ◆わざとぶつかる
- ◆物を隠す
- ◆遊ぶふりをして、叩いたり、蹴ったりする
- ◆物を壊したり、捨てたりする
- ◆イヤなことや恥ずかしいことをさせる
- ◆危険なことをさせる
- ◆ネット上で、悪口や嫌がらせを書きこむ など



三木市子どもいじめ防止センター

電話：0794-82-8110

ijime_boshicenter@city.lg.jp

相談日：月曜日～土曜日

時間：午前9時～午後5時まで

日曜日・祝日はお休みです。

